

農 福  
×  
連 携

## みなくちファーム (高島市マキノ町)

### ○みなくちファームって どんなところ？

水口淳さん、良子さんご夫婦が共同経営される「みなくちファーム」は高島市マキノ町しょうりょうたひんもくで少量多品目の露地野菜ろじやさい (5ha) と原木シイタケげんぼく (年間植菌 7,000 本) の栽培などに取り組まれています。

みなくちファームでは、有機 JAS 認証ジャスおよび JGAP 認証ジェイギャップを取得されており、原木しいたけのホダ木たいひかを自社で堆肥化して使用するなど、持続可能な循環型農業かんがたを実践されています。

また高島市の特産品であるマクワの栽培にも積極的に取り組まれるなど、地域全体の活性化に役立つ存在でありたいという想いで経営されています。



共同経営者 左：水口良子さん 右：水口淳さん

### ○農福連携のきっかけや取組の概要

水口さんご夫婦は、平成 26 年に U ターンして新規就農されました。当初から無農薬栽培に取り組まれており、経営面積の拡大とみなに伴い、除草作業などの労力不足が大きな問題となりました。このことを先輩の農家の方に相談し、近くの福祉事業所の紹介を受けたことが農福連携に取り組まれたきっかけだそうです。



樹工房へ伝え、その作業内容に興味を持った方が来られているそうです。主な作業は、夏は収穫したマクワやカボチャを拭く作業ふ、冬は大根の収穫などです。



現在は、車で 5 分ほどの距離にある福祉事業所ふじ きこうぼう しゅうろうけいぞくしえん (藤の樹工房 就労継続支援 B 型) に、農作業を委託されています。藤の樹工房の利用者約 20 名のうち、農作業が得意な方や好きな方、8 名程が交代で作業に来られています。日数は月に約 10 日、作業時間は 10 時から 15 時までで、12 時から 1 時間は藤の樹工房に戻って昼食をとられています。水口さんから、いつ、どのような作業をするのかを事前に藤の

## ○心掛けていること

みなくちファームでは、作業の方々に、いつまでも仕事を終わらせてほしいということは伝えず、自分達のペースで仕事に取り組んでもらえるように心掛けておられます。また、細かな指示も極力しないようにし、一緒に来ていただいている指導員の方に大まかな方針を伝え、指導員の方から作業いただく方に伝えていただくなどの工夫をされています。

他にも、マクワの収穫時期は真夏のため、炎天下での作業となる収穫は水口さんご自身が行い、作業いただく方には屋根の下でできるマクワを磨く作業をお願いするなど、身体への負担を考え、依頼内容にも配慮されていました。



## ○これからの農福連携について

### ～水口 淳さんからのメッセージ～

農業の世界では人材不足が深刻な問題になっており、これから状況はさらに悪化していくと予想されます。そういった中で、農福連携の取組は必須になってくると思います。

農業者から福祉事業所への依頼が増える中で「みなくちファームの仕事をしたい」と選んでもらえるように、経営努力をしていきたいと思えます。

**県内の農福連携の取組を  
動画でご覧いただけます！！**



滋賀の農福

検索

## ○農福連携に取り組んでよかったこと

「農業は天気の影響を受けるため、雨で仕事がなくなることや、晴れていて急いで仕事をしたいということもあります。そういう時でも柔軟に対応していただけるので助かっています。また、作業に来ていただいている皆さんの栽培技術が上達していくことが、すごく嬉しくて、やりがいを感じています。」と淳さん。良子さんも、「一緒に働く中で、皆さんが見せてくれる笑顔が素敵で元気をもらっています。」と話してくださいました。



藤の樹工房指導員の青山さんと松村さんは、「利用者の中には、屋内作業は苦手でも、屋外の農作業で才能を発揮する方もおられます。得意分野が見つかり、本人の自信につながり、事業所の雰囲気も明るくなります。また、当事業所は自らも農業に取り組んでいますが、みなくちファームでの作業を通じて利用者の栽培技術が上達したことにより、事業所の農場の収穫量も増え、収益アップにつながっています。」と嬉しそうに話してくださいました。

## データ DATA

【組織名】 みなくちファーム

【所在地】 高島市マキノ町蛭口 1386-8

【連絡先】 TEL：0740-20-1271

【 HP 】 <https://www.minakuchi-farm.com/>

発行：滋賀県農政水産部農業経営課

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目 1-1

TEL:077-528-3831

E-mail:noufuku@pref.shiga.lg.jp